

# 共同が大きな成果に

## 補正予算に盛り込ませた県民の願い

### 特別支援学校への エアコン設置前倒し実施

わしの恵子県議と本村伸子衆議院議員の連携プレーで実現した特別支援学校のエアコン設置。当初は100年かかる計画だったものを2021年夏までの3年で実施する計画に変更させました。



文部科学省にエアコンの設置を  
申し入れをするわしの県議

日本共産党県議団は、今夏の猛暑を踏まえた緊急の申し入れを行い、2020年夏までに全教室へのエアコン設置のために4億7千万円が上乗せされました。

記録的な猛暑のなかで、小中学校のエアコン設置の遅れが社会問題となりました。早急な対策を求める声が国民から上がるなか、政府は補正予算案で臨時特例交付金を新設。エアコンの設置されていない約17万の全国の普通教室すべてに整備できる規模となる817億円が盛り込まれました。

### 日本共産党提案の「災害対策の充実強化」 求める意見書 全会一致で採択

日本共産党愛知県議会議員団は、「災害対策の充実強化についての意見書(案)」を提案しました。そして、話し合いの結果、一部修正しましたが、全会派一致で採決されました。「最低賃金引き上げ」を求める意見書以来、二度目の全会派賛成です。

県民の利益に反する内容が含まれていたのでは

## 全体が一括で採択された 予算案と条例案に共産党は反対

### 低所得者ほど負担が重い 庶民増税を続けるな



補正予算案・条例案に  
反対討論するわしの県議

県民税の均等割り1,000円に加えて「あいち森と緑づくり税」500円を上乗せする条例。この税金を知っている県民は県の調査でも9.2%しかいません。圧倒的多数の県民が知らないところで県民税を1.5倍にする一方で、大企業は1.05倍とわずかな増税です。

森と緑を守るというのであれば、温室効果ガスの排出などで森を減少させた責任に応じた課税にすべきです。わしの県議は「あいち森と緑づくり税」の延長をやめ、「防災費の財源として課税している大企業の法人事業税の超過課税を5%に戻せば財源はある」と提案しました。

### 危険なコンクリートブロック塀の撤去

6月の大阪北部地震で小学校のブロック塀の倒壊事故をうけ、名古屋市は5日後に危険箇所の撤去・フェンス設置を開始しました。ところが、愛知県は危険箇所の発表から1ヶ月近くも放置されたままでした。わしの県議が繰り返し県教委などに働きかけた結果、緊急点検結果にもとづく県有施設のコンクリートブロック塀の撤去及びフェンス等の設置で6億円が計上されました。



名古屋西高校に新設されたフェンス

### 県営住宅修繕・高齢化対策の改修

県営住宅が老朽化しているにもかかわらず、必要な修繕が行われず「ボロボロの県営住宅をなんとかしてほしい」という声が多数寄せられていました。党県議団は県営住宅の現地調査や懇談会、聞き取りなどを行い、繰り返し議会で改善を求めてきました。今回の補正予算では、高齢化対策改善費等として県営織部住宅などに4億1500万円が計上されました。



県営住宅懇談会で声を聞くわしの県議

### 病床を減らし、専門性をなくす 県立がんセンター(岡崎市)の統廃合はダメ

県立がんセンター愛知病院は、県立のがん専門病院であり「がんセンター」という専門性に信頼が寄せられていました。また、「へき地医療拠点病院」として、山間地や離島などに医療従事者を派遣する役割を果たしてきました。県と岡崎市は、愛知病院を岡崎市民病院に移管後、病床数を141床も減らす計画を明らかにしています。わしの県議は、「国指定のがん診療連携拠点病院で移管されれば、専門性、専門医の配置、緩和ケアを受けられる保障は確保されるか」「へき地医療支援はどうなるのか」と指摘。移管のための条例改正に反対しました。



統廃合される愛知県がんセンター愛知病院

# 県民不在の県政動かす 大きな実績

## 再び県議会へ

市議に初立候補の時、「お年寄りいじめは絶対許せません。誰もが安心して暮らせる社会を」という私の訴えを涙ながらに聞いてくださった方との固い握手が、私の原点です。挑戦3度で当選以来、市議24年、県議3年、弱い立場の人たちに寄り添い、その願いを叶えなければと胸に刻んできました。

県議になり、特別支援学校の空調整備、難聴児への補聴器購入助成、県営住宅修繕費の大幅増など、多くの方に「共産党の復活は本当に良かった」と喜ばれました。

一方で「少ない年金を下げられ、介護保険料なども差し引かれ、これ以上どうすれば…」と、どれだけの訴えを聞くことでしょうか。私は小学4年生の時に父の商売がつぶれました。毎日毎日、職安へ出かける父と、弱い体で内職に精を出す母を何とか助けたいと、学校から帰るとすぐに内職を手伝い、3人姉妹の長女の責任を感じながら暮らした体験から、その訴えには胸の共鳴が抑えられません。

大型開発優先で県民の暮らしや教育・福祉を後景に追いやる政治を変えるため全力で頑張ります。

愛知県議会議員

# わしの恵子

## 「県民が主役」の県政へ3本柱の改革を

### 1. 子どもの貧困解消、若い世代が希望を持って学び、働き、暮らすことのできる愛知県へ

- 18歳までの入通院とも医療費無料化へ県として中学卒業までの医療費無料化
- 小中学校の給食費無料化へ県の助成制度の創設
- 最低賃金1,500円への引き上げを国に求めるとともに、県独自の助成制度で保育や介護労働者の賃上げ

### 3. 異常気象から県民のいのちと財産を守る県政へ

- 南海トラフ地震に備える防災、減災対策
- 災害時の人間らしく暮らせる避難所の整備
- “防災”という観点から大型公共事業の見直しを求める

### 2. 誰もが安心して暮らすことのできる医療・介護の基盤整備へ

- 75歳以上の医療費は入通院とも無料に
- 国保料の1人年1万円の値下げ・介護保険料と後期高齢者保険料の5千円の引き下げ
- 特別養護老人ホームを4年間で2万人増やす緊急増設計画の策定

こうすれば財源はできる！

全国第2位の豊かな財政を大企業優先から県民の暮らし優先に切り換えます

- 最大1件100億円の大企業優先の補助制度の見直し
- 設楽ダム（県支出1480億円）、カジノ誘致がらみの国際展示場（土地代含め700億円）など大型開発の中止
- 大企業の法人2税の超過課税の引き上げ

県民の願い  
国政へ

窓口案内



参議院議員

井上さとし

〈国会事務所〉千代田区永田町2-1-1 衆議院議員会館321号室 〈愛知事務所〉名古屋市中区新栄3丁目12-25



若者雇用対策部長

すやま初美

日本共産党